

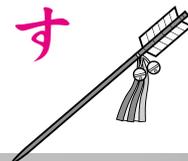
かすかべ KASUKABE 議会だより

2008(平成20)年2月1日発行
発行・埼玉県春日部市議会
編集・議会だより編集委員会
<http://www.kasukabe-shigikai.jp>

第10号



謹んで新春のお喜びを申し上げます
春日部市議会議員一同



富士山 (龍Q館より)

(議席番号順)	大 中 栗 小 鳴 阿 石 山 野 河 富 五 武 小 竹 内 川 会 福 松 片 涉 蛭 柴 阿 新 白 卯 村 秋 滝 岩 鬼	議 員	副 議 長	議 長
	山 川 原 島 島 部 川 口 井 樫 久 保 内 田 鍋 田 田 本 山 田 間 部 部 土 月 松 山 澤 谷 丸 木 崎			
	利 信 文 喜 勝 浩 美 清 み 幹 博 正 勝 秀 幸 晃 浩 智 靖 康 真 裕 幸 武 君 文 英 一 裕			
	夫 朗 司 男 武 一 也 保 昭 久 年 り 也 史 元 康 雄 一 子 一 子 秀 造 郎 子 介 仁 彦 子 和 明 弘 史 保 進			



シクラメン

平成20年1月1日現在
人 口 241,384
男 120,461
女 120,923
世帯数 95,729

主 な 内 容

主な議案の紹介…………… 2～3ページ
一般質問…………… 4～14ページ
閉会中の委員会活動…………… 14ページ
審議結果…………… 15ページ
傍聴して一言…………… 16ページ

総合振興計画基本構想

（平成20年度から29年度まで）を可決

後期高齢者医療に関する条例の制定を可決

総合振興計画 基本構想を可決

春日部市総合振興計画は、合併後の新たなまちづくりの方向性や市の将来像を定め、今後10年間にわたる、総合的かつ計画的な行政運営の指針となるものです。

計画策定に当たっては、旧春日部市・旧庄和町の合併時に策定された「新市建設計画」を尊重しつつ、合併後の社会環境の変化や市民意向等を踏まえて策定されました。

基本構想は、長期的な視点から、本市のまちづくりを進める上での基本理念と将来像を示すとともに、まちづくりの枠組みとなる将来人口、土地利用を明らかにし、将来像の実現に向けた施策の大綱を示すものです。

主な内容は次のとおりです。

○基本理念

「新市建設計画」において、新市建設の基本的な考え方とした「市民主役・環境共生・自立都市」を総合振興計画においても継承しています。

○将来像

「人・自然・産業が調和した 快適創造都市「春日部」」この将来像は、住んでいる人や訪れる人が快適な時間を過ごすことができ、住み続けたい、訪れたいと実感できる都市を実現していくために、魅力あるまちにとつて欠かせない「人」「自然」「産業」が調和し、だれもが快適に暮らせる都市を、人々の知恵や経験を生かしてつくり上げることを目標とするものです。

○まちづくりの枠組み

① 将来人口
将来人口については、ここ数年の傾向として、出生数が死亡数を上回る自然増に対し、

転入者数が転出者数を下回る社会減の状況で、全体として微減となっており、現在の傾向を踏まえて将来人口の推計をした場合、計画の目標年次の平成29年度には、23万8千人になると予測しています。しかしながら、人口減少に歯止めをかけ、まちのにぎわいと活力を生み出すことが、今後のまちづくりには不可欠であると考え、定住性を高める施策の推進、新規定住者の増加促進に努めることにより人口増加を目指し、平成29年度の目標人口を25万5千人に設定しています。

② 土地利用

長期的な視野のもと、計画的かつ効率的な土地利用を誘導します。

将来の都市構造としては、各駅を核とした生活系市街地の展開を基本とし、商業系を初めとする中心市街地の機能

強化を図るとともに、道路などの都市軸の整備拡張に伴って、農業と調和した流通・工業・商業系などの新たな土地利用ゾーンの展開を進めます。

○施策の大綱

将来像を実現するため、3つの「基本理念」を念頭に置きながら、次の7つの「まちづくりの基本目標」に位置づけた各種施策を展開します。

- ① 子どもからお年寄りまで健康でいきいきと暮らせるまち（やすらぎの施策）
- ② 地域でつくる、安全で環境にやさしいまち（あんしんの施策）
- ③ 人々が集い、にぎわいのあふれる元気なまち（にぎわいの施策）
- ④ 個性を尊重し、生きる力と生きがいをはぐくむまち（はぐくみの施策）
- ⑤ 活気と活力に満ちた魅力あふれるまち（ゆたかさの施策）
- ⑥ だれもが参加・交流する市民が主役のまち（ふれあいの施策）
- ⑦ 市民の期待に応える行政を推進するまち（しんらいの施策）

【賛成多数で原案可決】

討 論

後期高齢者医療に関する条例の制定を可決

平成20年4月から75歳以上の医療保険制度である後期高齢者医療制度が開始されます。これにより、新たに設置された広域連合において、資格管理・保険料の賦課等を行い、保険料徴収を市が行うこととなります。この保険料徴収に当たつての必要事項、及び業務の範囲を定めるものです。

【賛成多数で原案可決】

欠陥だらけの制度であることを指摘し反対（日本共産党）

- ① 収入がない人、収入の少ない人からも容赦なく徴収。
- ② 保険料を年金から強制的に天引き。
- ③ 保険料の負担がない扶養家族も新たな負担がかけられる。
- ④ 1年間払えなければ保険証を取り上げ、1年半払えなければ医療が打ち切られる。
- ⑤ 高齢者に高い負担を押しつけ、必要な医療を受けさせず、診療や薬の制限をする。

以上を指摘し、反対します。

討 論

総合的で計画的な内容とは
言いがたく議決に値するもの
でないため反対(日本共産党)

基本構想とは、一読したただ
けでも一定の明確さで具体的
な方針や政策、その到達の目
標等が明らかになるものでな
ければなりません。ところが
この基本構想では、施策の大
綱において、7本の各施策が
おのおのわずか3行で書かれ
ています。これで何が明らか
になるといえるのでしょうか。

また、次の点を指摘します。
①目標人口設定に対し、その
根拠となる政策展開が大変弱
いと思います。

②人口増の計画に比較して、
市街化区域の拡大構想は余り
にも過大過ぎます。

③市政運営を市政経営に置き
かえる点は問題です。効率の
よい行政運営は当然であり、
わざわざ経営感覚と称する必
要はありません。

④中核市への移行は、合併以
外には考えられません。平成
の合併劇は、自治体リストラ
であり、住民から行政がまず
まず遠くなるだけのものです。
⑤財政の見通しが必要不可欠
です。

以上を指摘して反対します。

将来像を実現するため市民の
皆さまとともに全力を注ぐこと
を期待し賛成(新政の会)

この基本構想は、合併後初
めての総合振興計画として、
新しい春日部市の基礎づくり
と持続的な発展を図ることを
目的として、市民と行政が共
有するまちづくりの指針とな
る重要なものです。地方自治
体を取り巻く環境は、一層厳
しさを増しており、この春日
部市のかじ取りをどのように
行っていくのかということ
非常に大きな課題です。

基本構想では、今後10年間
にわたる長期的な視点に立つ
て、本市の将来像を「人・自
然・産業が調和した快適創造
都市・春日部」と定め、そ
れを実現するための基本目標
や、そのために必要となる施
策の展開方針を定めています。

今後は施策の大綱にあるよ
うに、市民と行政の協働によ
る「ふれあいの施策」や、行財
政改革を進める「しんらいの
施策」の実施が、やすらぎ・
あんしん・にぎわい・はぐく
み・ゆたかさのそれぞれの施
策の展開を支えながら、バラ
ンスのとれた計画の推進を図
ることを期待して賛成します。

財政見直しを含めた
さらなる検討が必要と
考え反対(フォーラム春日部)

市長は、総合振興計画は、
「新市建設計画を尊重して策
定される」としてきましたが、
総合振興計画策定の段階で、
新市建設計画について十分な
検討がなされたとは言えませ
ん。

また、今議会に提案されて
いる総合振興計画は、余りに
も総花的で、何を重点施策と
しているかが理解できないた
め、新市建設計画の変更に向
たるかどうか、判断できない
ものとなっております。もしも
新市建設計画の変更となると、
新たな財政計画の策定が必要
となります。

合併後、国の地方財政計画
が大きく変わった今、合併前
の財政計画を見直し、新市建
設計画を検討する必要がある
と考えます。今回、財政計画
が示されていないのは、新市
建設計画を踏襲するからだ
ということであれば、その貴重
な機会を失うことになると思
えます。

以上の点から、この総合振
興計画には、さらなる検討が
必要と考え、反対します。

行政と議会が一体となって住ん
でよかつたまちになるよう努力
することを誓い賛成(春和会)

今、自治体は、異常な財政
危機に見舞われていますが、
この基本構想は非常にうまく
まとまったと評価しています。
この基本構想は、7つの施
策に分かれています。その中
で、やすらぎの施策が一番大
事だと思えます。福祉の切り
捨てはせず、福祉の充実をま
します図っていく、非常によ
い表現だと思えます。市立病
院の再整備、再建も大変な問
題であり、これから具体的に
市長を初め執行部の皆さんが
やる気を起こしていかなけれ
ばならないと思えます。

にぎわいの施策も大変大切
であり、住みたいまち春日部
にしていかなければなりません。
そのため、緑と調和し
ただれもが快適な環境で豊か
さの実感できるまちをつくつ
ていく必要があると思えます。

また、産業経済の振興のた
め、ゆたかさの施策にも力を
入れてもらいたいと思えます。
市長がリーダーシップを発
揮し、市民が楽しく訪れるよ
うな市役所をつくっていただ
くことを要望し賛成します。

以上を指摘して反対します。

適正な事務の遂行により
高齢者医療制度が充実する
よう期待し賛成(新政の会)

この医療制度は、財政責任
を負う主体を明確化し、新た
な医療サービスを提供するこ
とを目的とするもので、本条
例は、市が行う事務の保険料
徴収業務等を定め、本医療制
度の運営に必要な不可欠な
ものです。今後、広域連合にお
いては、運営の効率化と財政の
安定化に努めるとともに、適
正な事務の遂行により高齢者
医療制度が充実するよう期待
して賛成します。

制度の撤回も含む見直しを求めるが
保険料徴収等のためには必要
であり賛成(フォーラム春日部)

この制度は、高齢者医療費
増大の対策として、主に75歳
以上の方に負担を強いるもの
で、認めがたいものです。

しかし、本条例は保険料徴
収等について定めるもので、
制定しないと、春日部市の75
歳以上の方が医療を受けられ
なくなるおそれがあります。

県の後期高齢者医療広域連
合において、この制度の抜本
的改正を検討するよう強く要
望し、賛成します。



一般質問

市民の声を市政に

(文責は、各質問者)

一般質問に30人が登壇

春日部市立病院について



滝澤 英明
議員

総務省による公立病院改革ガイドラインが示され、安定した経営のもとでの良質な医療の提供が求められています。

市立病院では地方公営企業法の全部適用に向けての検討を行っています。また、県内病院の動向と、そのメリットを伺います。また、早い時期の実施が必要と考えますが、実施時期についての市長の決断を伺います。また、病院の組織改革について、その目的と経営再建計画との関連、医療部の組織について伺います。さらに、宮代町との合併が話題になっていますが、今後を見据えた市立病院の充実に対する市長の意気込みを伺います。

○病院事務部長

県内では県立4病院と草加市、川口市が全部適用を実施しています。メリットとしては事業管理者に権限と責任が与えられ、経営責任の明確化が図られます。また、組織改

革は総務課と管理課を統合して経営管理課とし、経営再建の方策を着実に実行する組織としました。医療部については全部適用を見据えて研究する必要がありますと考えています。

○市長

全部適用に向けては、平成20年9月を目途に、市と病院が一緒になって取り組んでまいります。また、合併となると、名実ともに地域の中核医療機関になるため、さまざまな角度から十分に検討します。

このほか

○重度心身障がい者医療費助成事業について

火災被災者向けパンフレットの配布について



大山 利夫
議員

宇都宮市では火災の被災者向けに、手続や行政サービスをまとめたパンフレットを作成し配布しています。このパンフレットは罹災証明の申請方法や、各種証明書の再交付手続の説明と、市の担当連絡先を載せ、市営住宅の一時入居や固定資産税の減免措置等

の情報も載せています。

当市では年間40件ほどの住宅火災が発生しますが、いざという時のための案内を記載したパンフレットを作成してはいかがでしょうか。また、自治会長や民生委員等に、あらかじめ配布しておく、万が一の際に役立つと考えます。被災された方々を支援するものを作成するよう要望します。

○消防長

罹災後の手続は、現場と罹災申告等で消防本部に来署した時に説明しています。ご指摘のパンフレットは大変参考になることから、今後は関係部署と必要な手続に協力を進め、罹災者の支援策を取りまとめたパンフレットを作成し、平成20年度から案内をしてまいります。

このほか

- ワンルームを規制するマンション規制条例について
- いじめ防止条例について
- 教職員ひらめき提案制度について
- 5歳児健診の導入について
- 障がい児・者差別禁止条例について
- 庄和総合支所内への障がい者作業所の設置について
- 小渕地内通学路の安全対策

武里団地の 今後について



渡田 智秀
議員

独立行政法人都市再生機構（UR）のスリム化について、建てかえの時、団地から一時出て行かなければならないが、市は何か対応を考えていますか。家賃が高額になる時に、家賃減額制度の廃止が予想されますが、市の対応は。建てかえによる余剰地が出た場合、市の対応は。

また、武里団地内の不法投棄物処理について、法律にある占有者（管理者）とは誰ですか。管理者がURならば、市はURに指導すべきですが、市の考えはありますか。さらに、定期的なパトロールの実施を検討していただきたい。

○**都市整備部長**
移転費用等はURの負担と考え、現在のところ対応は考えていませんが、URから要請があれば協議してまいります。家賃減額制度については、国の動向を見て対応します。

余剰地については、具体的な位置、面積等が明らかになつた際に総合的に判断します。

○**環境経済部長**
占有者はURであり、URが管理すると確認しています。パトロールについては、文書で要請してまいります。

このほか
○衆院選の対応について
○市立病院の小児科について
○内谷交差点信号について
○武里交番について
○春日部駅西口改札前雨よけ対策
○大沼武道館の駐車場確保について

小中学校の普通教室の暑さと寒さ対策



松本 浩一
議員

春日部市ではクーラーは、校長室や職員室、保健室、コンピュータ室等に設置されていますが、普通教室にはクーラーが設置され、越谷市でも扇風機が設置されています。近年、夏の暑さは大変厳しくなっており、先生方も子ども

もたちも「クーラーを設置してほしいが、せめて扇風機ぐらいは教室に何台か置いてほしい」という声が強くありますので、ぜひ設置してほしいと思います。

また、これから本格的な寒さが到来し、風邪やインフルエンザの流行の兆しがあります。石油の値上がりで、学校での燃料費も多くなっていると思いますが、「予算がない」ということで、教室で使うストーブの灯油を制限することのないようにしてほしいと思います。

○**学校教育部長**
扇風機は、一度にすべての学校に設置はできませんが、希望のある学校から、可能な限り設置したいと思います。また、灯油は、授業に支障のないように供給します。

このほか
○春日部駅東西自由通路の早期整備を
○敬老会の改善を
○児童・生徒用の机とイスを新しく
○学校給食に春日部産米を100%導入し、生産者の顔が見える取り組みを
○「全国いっせい学力テスト」には不参加を

市道2-215号線の 安全対策について



富樫 清年
議員

市道2-215号線は、下柳地内の新川橋から永沼との境の人道橋に至る、中川沿いの左岸の道路で、庄和地域から春日部地域への便利な道路として多くの利用者があります。しかし、道幅が非常に狭く、路肩やフェンスが崩れていたり、民地の生垣が張り出していたりするため、田んぼや河川側に脱輪する車があり、非常に危険です。

そこで、車や歩行者の転落防止のため全面的にガードレールが設置できないか。3メートルないような狭隘な部分について道路補修ができないか。さらに、生垣の刈り込みについて、以上3点伺います。

○**建設部長**
市道2-215号線は、許可を受け堤塘敷の天端を占用しているものです。ガードレールは、転落事故防止のために設置しており、危険箇所を調査し、県と協議の上、今後

も必要箇所には設置します。路肩の補修については、順次補修をしますが、堤塘敷の天端幅には限界があるので、さらなる改善については県と協議していきます。生垣の刈り込みについては、今後も所有者にお願いをしてまいります。

このほか
○新宿新田地内の通学路の安全対策について
○高齢者・障がい者宅への住宅用防災機器の設置について
○ぜんそく患者への医療費支援について
○南桜井駅東側の地下道整備について



市道2-215号線

東中学校建設の 進捗よく状況について



小島 文男
議員

毎回お尋ねをしています。東中学校の建設用地取得に向けて県との交渉はどうなっているのでしょうか。未来を背負う子どもたちの学校教育のためにも、一刻も早く用地を取得してもらいたいと思います。現在、春日部には県議も3人います。市長には積極的に県議及び知事に対して交渉していただきたいと思っております。また、建設予定地は昭和43年に鑑定価格の約3分の1で県に売ったと聞いております。買い戻すに当たっては3分の1以下の価格でないと合わないのではないのでしょうか。

○学校教育部長

現在、県の農林部等と交渉を進めており、県からは「市に売る」という、はっきりした意思表示をいただいています。ただ、農業改良センター建設時の補助金を国に返還するのか、また、建物の取り壊し費用の積算などについて調

整しています。

売買価格については、昭和43年当時、約3分の1で売りました記録が残っていますので、これを踏まえて用地交渉を進めていきたいと考えます。

○市長

今後においても、県議及び知事に当時の経緯を説明し、安価な価格になるよう積極的にお願いをしております。

このほか

○公立病院の役割と現在の市立病院の運営と今後の診療体制について

○市内久太郎橋以北の道路の延伸と広域農道の安全対策は



交通安全対策について



栗原 信司
議員

緑小学校、緑中学校へ通う児童生徒を抱える保護者の皆さんからの要望です。

川久保自治会館から、ユリノキ通りへ向けて、通学路として用水路にふたをかけ、歩道が整備されましたが、ユリノキ通りと交差する直前部分の歩道が未整備です。

半年前に担当者にお聞きしたところ、道路に面した角地にレストランができるので、その開発にあわせて同時に工事を行う方向であり、少し待ってほしいという説明を受けました。しかし、お店も歩道も一向にでき上がる気配がありません。

ユリノキ通りの抜け道になるため、車の通行量は朝夕の通学時間には激しいものがあります。この通りを通学路として使う児童生徒を抱える保護者の方の、心配の声が強くなっています。この対応はどうなっている

のでしょうか。早急に工事をして、歩道を整備すべきと思いますが、市の対応をお伺いします。

○建設部長

未整備部分については、事業当時、開発計画があったため工事範囲から除外していましたが、その後、開発業者から計画変更の申し出があり、開発区域から除外されました。

現在、早急な整備に向け設計中であり、3月末までに完成したいと考えています。

このほか

○内谷陸橋にエレベーターを

中心市街地の 現状と課題について



栄 康次郎
議員

春日部駅東口のブルンズ通りに旧富士銀行跡地がありま。現在、更地となり、マンション建設が計画されているようですが、低層階に商業施設を入れるよう指導すること前、旧サティ跡地にマンシ

中心市街地に人が戻ってくるだけでも非常に歓迎すべきではありますが、今後ますます高齢化が進む中でコンパクトシティを目指すことは重要です。中心市街地に人が住み、生鮮食品がそろった商店街があり、コミュニティを形成して、歩きだけで十分に生活できることが重要と考えます。

○鉄道高架担当部長

銀行跡地は、現在、市と関係利権者がまちづくりを検討している春日部駅東口市街地整備事業の予定区域内にあります。マンション建設に向けて申請がなされ、受付が完了しています。

市としても、中心市街地活性化の観点から、低層階へ商業施設を入れる申し入れを再三にわたりに行いましたが、申請者は、住宅マンションであり、防犯など諸般の事情からできないとのことでした。現在に至っては、既に計画設計図が完成しており、これ以上の要請は困難と判断しました。現状では、一定規模の定住性の高い人口集積は、中心市街地の活性化に寄与すべきものがあると考えています。

このほか

○特例市への移行について

職員の意識改革について



山口 保
議員

一部の職員に全体に対する奉仕観念が希薄な者が見受けられます。特に窓口の応対で職員がすぐに席を立たないという苦情を聞いております。

また、最近新聞で伝えられることが多い汚職事件などは、公務に対する住民の信頼を裏切る行為です。特に建設関係の許認可や工事、物品の発注などの汚職事件は、事前の対策いかんにかかっていると思います。春日部市として、職員の汚職防止をどのように考えているのでしょうか。

○総務部長

市民の皆様にご気持ちよく市役所をご利用いただくためには、窓口でのあいさつや言葉遣いなど接遇の向上が重要であると考えます。そのため、職員への接遇研修や、管理監督者には部下職員へ接遇の指導ができるよう接遇指導力強化研修を実施しています。

汚職事件については、服

規律の確保を文書等で指導しています。また、公務への信頼を確保することを目的とした「職員倫理規程」や、職員が内部通報できるようにする「職員等の公益通報に関する要綱」を導入しています。

今後も研修のさらなる充実とともに服務規律の確保について周知徹底を図り、職場全体の倫理意識の向上と職員本人の自覚を促してまいります。

このほか
○静かな自転車利用のまちづくり
○アダプトプログラムの全市への発信を

巨大マンション建設は問題が多い



村松 君子
議員

大沼4丁目の広大な郵政省グラウンドの跡地、北側はマンション建設が予定されていますが、このマンションは12階建て、長さが210メートル、戸数が約400戸と、市内にはこれまでなかった巨大なものです。

近辺の住民から、日照・風

ララガーデン春日部でもパパ・ママ応援ショップ制度を利用可能に



五十嵐みどり
議員

88店舗が入ったララガーデン春日部がオープンし、連日にぎわっているようです。特に赤ちゃん連れのお母さんが多いように感じました。

今年の5月から実施された埼玉県の事業であるパパ・ママ応援ショップ制度も、子育て世代のお母さんたちから大変喜ばれました。ただ、もっといろんなサービスや利用店舗をふやしてほしいとの意見も寄せられました。

そこで、ララガーデン春日部でも、パパ・ママ応援ショップ制度に登録することは可能でしょうか。この制度を利用して喜んでいただけるよう推進してください。

○環境経済部長

パパ・ママ応援ショップについては、本事業の趣旨にご賛同いただければ、どなたでも協賛店舗の登録は可能です。

市としても、ホームページを通じてPRを行っており、

現在少しずつ増加し、県内では、さいたま市、川口市に次ぐ233店舗となっています。

また、ララガーデン春日部についても、協賛店として協力いただけるよう、お願いしているところです。

このほか
○「放課後子ども教室」について
○新成人に式典のDVDの配布を
○犬の飼い主のモラル向上を目指す飼い主の会員づくりに

○藤塚橋交差点付近の「右折レーン」設置について



鉄道新線誘致について
(浦和―春日部―宝珠花―
岩井―石下―筑波方面)



蛭間 靖造
議員

鉄道新線誘致については、都市から農村に人がやってくる流れをつくりだそうと思ひ提案しました。宝珠花に新線を通すことにより、駅ができて、「まち」ができていく。そして、都市と農村の対流が生まれると思ひます。都市には都市の価値がある。しかし、農村には都市と違った価値と暮らし方がある。その双方の価値を認め合うことが共生だと考えます。そして、一方的に農村から都市に人口が流出するのではなく、都市から農村に人がやってくる流れをつくりだすこと、それが対流だと考えます。私は、この対流をどうしてもつくっていききたい。また、つくばエクスプレスの沿線では、開発が急ピッチで行われており、大きな経済効果を得ていると聞いています。沿線には「まち」ができて、居住性を勝ち取っています。鉄道の誘致は、とても巨大

な事業であり、実現のためには、国の社会資本として、この地域に全力投下をしてもらう必要があります。そのため、国に対し、鉄道新線誘致の要望を突きつけてもらいたいと思ひます。

○総合政策部長

現時点では貴重なご提言として受けとめ、まずは総合振興計画に位置づけた鉄道関連施策の実現を推進します。

このほか
○ECOバッグとレジ袋について
○猫島橋から県道春日部菖蒲線への取りつけ道路について

日本一子育てしやすいまちに向けて



白土 幸仁
議員

日本一子育てしやすいまちを目指すということは、全国的に人口減少が始まった状況において、地域間競争に生き残るための合理的かつ先見のな施策と考えます。しかし、一見先行投資型と見られるこの施策は、決して場当たり的な対症療法になつてはならな

日本一子育てしやすいまちの推進のために



小久保博史
議員

日本一子育てしやすいまちという市長のスローガンを掲げ行政が執行されています。子どもたちの自主性、主体性、協調性、地域への郷土愛をはぐくむことは重要だと考えます。以前、一般質問の答弁で子ども憲章を主要事業として認識し、早期制定をするということでしたが、その後の検討状況、必要性について考え方を改めて伺ひします。また、子どもたちの健全育成のために活動している子ども会、スポーツ少年団の方々からも減免なしに公共施設の使用料をいただくことは市長の掲げようか、ご見解を伺ひします。

○社会教育部長

負担の公平性を確保する観点から、基本的には使用料を負担していただくという考え方は、重要な課題であると考えています。また、公共施設の有料化については、この制度が皆様にご理解いただき、定着していく中、さまざまなご意見、ご要望を真摯に受けとめてまいります。

○市長

子ども憲章の制定については、重要な課題であると考えています。また、公共施設の有料化については、この制度が皆様にご理解いただき、定着していく中、さまざまなご意見、ご要望を真摯に受けとめてまいります。

○福祉部長

子ども憲章の制定は、市の全体計画や、市民憲章との整合性を図る必要があるため、これらの制定状況を見極めながら対応してまいりたいと考えています。



**庄和総合支所への
図書館整備について**



野口 浩昭
議員

基本計画の策定に向けて、現在庁内で調整会議を設置して、施設コンセプトや管理運営方法等について検討を進めると聞いておりますが、これまでに何回の会議を開き、具体的にどのような検討をされてきたのか伺います。

また、基本計画の作成に当たって、できるだけ早い時期に開館できる方法を十分検討していただきたいと考えますが、執行部の考えをお聞かせください。

○総合政策部長

庄和総合支所庁舎を活用して、図書館及び児童センターを整備するための基本計画を策定することを目的に、庁内調整会議を設置し、10月に2回の全体会議を開き、基本計画策定に係る概要、スケジュール等の基本方針や活用可能な財源等についての検討を行いました。また、図書館、児童センター、総合支所、それ

ぞれの運営内容方針案等について検討を行いました。

11月には全体会議の検討経過を踏まえて、事務担当レベルで総合支所の現場を見ながら、施設整備上の課題について抽出作業を行い、現在は各担当で対応策の検討を進めているところです。今後、基本計画策定業務委託料の議決をいただきましたら、早急にコンサルタント会社と契約を締結し、年度内の計画策定を目指して至急に検討を進めてまいります。

このほか

○構造改革特区事業について



庄和総合支所エントランスホール

**「森の中の図書館」
蔵書数10万冊は
何としても確保を！**



福田 晃子
議員

3万人の署名を添えた「森の中の図書館」の請願が採択されてから1年が経過しました。市民は、いつオープンするのかと待ちに待っています。

9月議会以降、庄和総合支所有効活用庁内調整会議で検討されてきた図書館建設の進捗状況と今後の見通しについて、主に次の点について、お答えください。

①図書館整備の補強工事はどうにするのか。②図書館の蔵書数は少なくとも10万冊は必要。5、6万冊では高校レベル。市民の願いにこたえるには何としても10万冊は確保を。③オープン年度を明確に。来年度は基本設計、改修工事を計上し、遅くとも平成21年度にはオープンを。

○社会教育部長

補強工事については、専門知識を持つコンサルタントに委託し、改修費用、蔵書可能数などを、整備手法別に、比

較検討しながら基本計画策定を進めていきます。蔵書数については、基本計画策定時に、要望として提出します。

○総合政策部長

今年度内に基本計画策定、来年度以降は基本設計、実施設計と進めますが、実施設計の中で、どういう改修工事が必要なか、あるいは費用的な面も出てきますので、オープン年度については、その辺を見極めるの判断になります。

○市長

早期整備を目指しています。このほか

○新循環バスの充実を

**庄和総合支所庁舎内に
市民ギャラリーの設置を**



川鍋 秀雄
議員

すふえてくるものと思います。生涯学習を積極的に推進し、文化都市春日部市を実現するために、市民の方たちの美術作品の発表や鑑賞ができる場が必要であり、市民ギャラリーの整備により、市民の創作意欲の向上と普及、文化の向上に大きく寄与できると思います。しかし、現在、庄和地域には常設のギャラリーがありません。

そこで、市民が気軽に利用できるが利用できる、図書館、児童センターと一体となった市民ギャラリーを、庄和総合支所庁舎内のエントランスホール、市民ロビー等を活用して整備が可能と考えますが、いかがでしょうか。

また、現在策定中の庄和総合支所庁舎有効活用基本計画に、市民ギャラリーの設置を盛り込んでほしいと思いますが、市の考えをお聞きます。

○庄和総合支所長

現在の利用状況を妨げない範囲内で、エントランスホール、市民ロビーの壁面等を活用してのギャラリー施設が可能性あると考えています。

○総合政策部長

設置の可能性等について、基本計画の中で検討します。

古隅田川の拡幅工事の 進捗よく状況と 今後の予定について



石川 勝也
議員

現在、古隅田川の梅田橋と東武伊勢崎線の間で河川の拡幅工事が行われています。

この拡幅事業の実施に当たっては、川の流れを十分研究しながら、流域内の環境向上と市民が自然に親しむ空間を確保するとともに、自然と共存し、環境面に配慮した川の維持管理をお願いします。

また、この拡幅事業により豊かで潤いのある河川環境をつくり、市民が四季折々の自然環境の変化等を楽しむことのできる水辺空間をつくっていただきたいと思っています。

この河川拡幅事業に伴い、橋のかけかえが必要になると思いますが、かけかえ計画についてお尋ねします。

○建設部長

県によると、十文橋は、現在迂回道路築造工事中であり、来年度上部工事を実施する予定とのことです。梅田橋は、現在の橋を左岸側に拡幅する

計画であり、今年度は詳細設計の見直しを行い、来年度から着工することでした。

市が管理する浜川戸橋は、左岸側に拡幅する計画であり、実施時期は他の河川改修事業と調整中です。

○鉄道高架担当部長

中央通り線の新設橋の整備は、袋陣屋線から神明通り線までの整備完了後の予定であり、時期は確定していません。

このほか

○都市部に残る水田も市民の財産として保全・活用を

○市道2-1号線と1-3号線の今後の工事計画について



古隅田川拡幅工事(梅田橋付近)

商業振興と まちづくりについて



中川 朗
議員

本市には春日部駅以外に7つの駅がありますが、これらの駅周辺の市街地の商店街などでは、人通りが減少し空き店舗が発生しています。市民の暮らしに直結する各駅周辺市街地の商店街振興にも力を入れて、市全体の底上げを図ることが商都復活につながると思います。市として今後どのような商業振興策を考えているのか伺います。

また、お年寄りや子どもたちが安心して歩くことができ、集える環境の整備による活気のあるまちづくりが中心市街地以外の商店街にも必要です。今後、各駅周辺市街地の商店街において市が進めていくべき市街地整備と、にぎわいづくりについて伺います。

○環境経済部長

有効な空き店舗対策を講じることが緊急かつ重要な課題と考えます。空き店舗調査の結果を踏まえ、相談窓口の設

置や空き店舗情報の提供を含め、空き店舗活用について商工団体と協議し、市全体の商業振興に努力してまいります。

○都市整備部長

各駅周辺についても安全に移動できる空間を確保し、安心して買い物などができる整備が必要と考えます。今後は関係部署と連携を図りながら、地元商店街の皆様と活気あるまちづくりに向けて勉強会などを推進してまいります。

このほか

○高齢者虐待について

○福祉公社について

ごみ排出について



鬼丸 裕史
議員

本市では平成19年6月からレジ袋でのごみの排出ができなくなりりましたが、ごみの減量として半年で約602トンもの削減効果があり、大変有意義であったと思います。4月に施行された改正容器包装リサイクル法によって、レジ袋を大量に使用する事業者に

レジ袋削減の取り組み状況の報告が義務づけられ、多くの市やスーパーなどの事業者ではマイバックキャンペーンが行われています。市としては、今後レジ袋の削減をどのように考えて進めるのか伺います。

○環境経済部長

また、プラスチックのリサイクルは、最も社会的コストが低く、環境への負荷も抑えられる手法を選択することが重要です。市ではプラスチックの分別について、どのように考えているのか伺います。

○環境経済部長

容器包装廃棄物を大幅に削減するためには、事業者、消費者、行政の三者による取り組みが最大の効果を得られると考えています。行政の役割として、事業者に対してどのような支援ができるのか、市民、事業者の意見を聞きながら鋭意取り組んでまいります。

このほか

○子育て応援タウンについて
○春日部市のイメージアップ

**介護保険制度と
ともに始まった成年後見
制度への取り組みは**



阿部真理子
議員

成年後見制度は介護保険制度の施行により介護サービスが措置から契約へと移行したため、それを補完する目的もあり、ともに施行されました。

認知症や障がい等により判断能力が不十分となり、自分一人で契約や財産の管理などが難しい方が、自分らしく安心して暮らせるようにその方の権利を守り法的に支援する制度です。一般に、介護サービス利用者の約2分の1の方が認知症の症状があると聞いています。認知症や成年後見制度について、より強力な事業展開をお願いしたいが、今後の取り組みとして成年後見支援センター、相談窓口の設置を。また、弁護士や社会福祉士による相談事業の実施についていかがお考えですか。

福祉部長

ふれあい大学や元気アップ教室等で直接説明することで制度の周知に努めています。

成年後見支援センターについてはNPO法人の成年後見センターが活動しており現時点では設置は考えていません。当面は制度の周知に全力を傾注してまいります。窓口の関係は福祉の総合窓口で検討させていただきます。社会福祉士、弁護士との相談員については、社会福祉協議会の人材を活用しながら検討させていただきたいと思っています。

このほか

- 高齢者の居場所づくり
- DV対策と今後の取り組み
- ハーモニー春日部における相談事業の充実を

公契約条例の制定を



秋山 文和
議員

公契約条例は、公共工事における賃金等確保条例というもので、今、国や地方自治体の公共事業、公共工事が減少する中、ダンピング受注競争も激しく、労働者の賃金、労働条件が大きく切り下がっています。公共工事の現場で働く建設労働者が、最低限の生

活を支えることのできる賃金労働条件が確保されるようにすることは国や地方公共団体の責務です。18年9月、当市議会においても、公契約法の制定を促進する内容の意見書を全会一致で可決しました。市は早急に制定すべきだと思いますがいかがでしょうか。また、条例化について、市長の見解をお尋ねします。

総務部長

賃金や労働条件は、労働基準法、最低賃金法等の関係法令のもと、労使間の自主的な取り決めにゆだねるべきと考えていますので、公契約条例の制定は難しいものと考えています。

また、すべての公共工事契約について、建設労働者の適切な賃金の支払いに配慮するようにとのことをお願い事項を、その都度要請してまいります。

市長

現在のところ、条例を制定する考えはありませんが、引き続き、国、県の動向を注視していきたいと考えています。

このほか

- 住宅リフォーム助成制度の創設を
- 生活保護制度のPRについて

英語教育について



岩谷 一弘
議員

英語教育について教育委員会にお尋ねします。

- ①市内の英語教育の現状と施策について
- ②文部科学省指定研究開発学校（粕壁小学校、春日部中学校）の取り組みについて
- ③小学校英語教育の今後の見通しと中学校との連携について

学務指導担当部長

中学校では、少人数指導、チームティーチングなど指導方法の工夫改善に取り組んでいます。

小学校では、すべての学年で子どもたちが楽しみながら学べる英語活動を行っています。外国人英語指導助手（ALT）を活用した実践的コミュニケーション能力を育てる授業を行い、またEIGO庵というプラン集を全校に配布しています。

公立の小中学校による英語の連携は、全国で7校しかない

く、粕壁小学校では、毎日9分間Eタイムという時間で英語学習に取り組んでいます。

教育長

小学校高学年における英語活動が平成23年から必修として設けられる予定です。今後は、Eタイムなどの教育課程への位置づけや他校でも実施可能とする工夫について研究を進め、拠点校を筆頭に、全国のモデルとなるように推進していきます。

このほか

- ララガーデン春日部オープンの状況について
- 中央通り線について



英語教育(粕壁小学校)

補助金交付団体について



片山い<子 議員

団体補助金についてどのような基準で補助が受けられるのか、補助対象の見直しが必要であると考えます。そこで

- ①補助金を交付する基準について規則を定め、透明性を高めるべきではないか。
- ②運営補助金については、団体を育成するという目的なので、毎年度審査会を設け、新規の団体も対象にできるような見直しが必要ではないか。
- ③事業内容によっては各団体ごとに補助金を交付するのではなく、目的が同じ団体が協力して大規模な事業が展開できるような補助の仕方のほうが成果が上がるのではないか。
- ④③のような場合は市の事業として位置づけ、補助金ではなく、委託事業としたほうが透明性が高まるのではないか。

以上4点について伺います。

○財務部長
補助金の交付基準については、団体ごとに活動目的、形

態等が異なるため、全庁的に画一の基準を定めることは難しいと考えます。現在定めている交付手続を遵守するよう努めていきます。その他3点の指摘については、交付してきた事業の背景等もあり、早急な改善は難しいと考えます。

しかし、社会情勢の変化や時代に合わなくなった補助金、目的を達成した補助金、自主運営が可能になった団体等について適宜見直し、統廃合等をしたいと考えています。

このほか

○地域ケア体制整備について
○公共交通網整備について

春日部市のまちづくりについて



鳴島 武 議員

まちづくりには都市計画道路の整備が最優先課題ではないかと考えます。今後の都市計画道路の整備計画について伺います。

また、野田線の複線化を新たな総合振興計画の中でどのように位置づけ、推進していくのか伺います。

また、複線化のメリットを感じさせるまちづくりについても考えを伺います。

さらに、複線化を進めるため、野田市と一体化して国などに働きかけを行うべきと考えますが市の考えを伺います。特に、複線化に向け野田市との連携について、市長の考えを伺います。

○建設部長

事業効果の高い路線を選択するなど、事業化に向けた準備をし、整備を計画してまいりますと考えます。

○総合政策部長

複線化など公共交通の充実について総合振興計画案に位置づけています。

また、沿線自治体が連携協力し、関係団体に働きかけを行います。

さらに、沿線のまちづくりを計画的に推進し利用者の増大を図り、積極的に要望活動を行っていくことが必要だと考えています。野田市とは連携協力関係を強めていきたいと考えています。

○市長

野田市とは、これまで以上に連携を密にして複線化の早期実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

南桜井駅周辺整備について



会田 幸一 議員

南桜井駅周辺整備事業では、都市計画道路南桜井駅前南線及び駅前北線の整備を行っていますが、現在までの進捗状況について、計画どおりに進んでいるのかどうか伺います。

また、南桜井駅周辺の南北地域は鉄道で分断されており、駅周辺の道路整備によって便利になるとともに、踏切の危険性も増すのではないかと危惧しています。副都心としての市街地活性化や今後の発展にも影響があると考えます。

そこで、南北地域の移動をだれでも不便なく往来できる方策や計画を考えているのか伺います。

○都市整備部長

駅周辺整備事業では現在用地交渉を実施しており、土地開発公社による先行取得を含めた平成19年11月末現在の用地取得率は、駅前南線が39%、駅前北線が62%となっております。平成18年度から22年度ま

での5カ年での完成を目指し、計画どおりの進捗状況です。駅付近の南北地域の移動は、地下道、駅の自由通路、踏切の3カ所を利用しての移動となっております。抜本的な解消策である鉄道の高架化は現時点で計画が予定されていませんので、今後の整備手法については、長期的な視野での課題研究とさせていただきます。

このほか

○企業誘致インフラ整備について
○民生委員の選出方法について

○安心・安全メールについて



南桜井駅北口周辺

**立野小学校、大増中学校の
通学路安全対策について**



武 幹也
議員

現在、埼玉県では、県土整備事務所管轄ごとに点検要領を作成し、通学路安全総点検を進め、春日部市も市内全小中学校に対し、その告知をしたと伺っています。しかし、保護者の皆さんは、通学路安全総点検について、ほとんど認識していませんでした。

このままでは点検要望がわからないまま終了してしまうという状況が発生してしましますので、保護者に対して、趣旨の説明と注意点を徹底していただきたいと思っています。

また、このままでは点検要望を出せない学校が大半なので、提出締切日を12月下旬まで延長していただきたいと思っていますが、いかがでしょうか。

○学務指導担当部長

ご指摘の趣旨を踏まえ、再度全小中学校に対して、PTAとの連携を図りながら確認をするよう通知します。

また、調査表の提出締切日

の延長についても、越谷地区通学路安全検討委員会と協議し、延長できるように努力します。

引き続き、通学路等における点検が細部に調査できるような趣旨の徹底を図り、関係組織に協力を依頼していきます。

このほか

○中川流域下水道維持管理費負担金について

○災害時における飲料水の優先供給について

○今後の春日部市立病院について

○小中学校の施設維持管理、修繕について



**既に提言した「資源ゴミの
持ち去り禁止の条例化」の
進捗よく状況について**



新部 裕介
議員

本年6月定例会で提言した資源ゴミの持ち去り禁止の条例化については、世田谷区の古新聞持ち去り事件の裁判結果を踏まえ、条例改正したいという答弁でありました。

そこで、裁判の状況と後を絶たない資源ごみの持ち去り対策の現状について伺います。

また、今の状況からすれば、早い時期に条例改正ができるものと考えますが、早期の改正を要望するとともに、条例化に向けての見解を伺います。

○環境経済部長

裁判の状況は、12人中4人が有罪となり、8人が係争中ですが、有罪判決が出された4人が、上告の意思を示していますので、今後も注視してまいりたいと考えています。

また、対策の強化策として、6月以降は警察と連携を図りながら、職員によるパトロールを実施し、さらに、10月からは、暫定的な早期収集を実

施しています。9月と体制を強化した10月を対比しますと、収集量が約40トン増加し、効果があらわれています。

なお、条例改正については、最高裁判所の結審を得なければならぬと考えますが、早期改正に向け、関係機関と協議を進めてまいります。

このほか

○犯罪件数の大幅な減少に期待できる「青色街路灯」の設置について

○新たな手口による詐欺犯罪等に対応するための「防災無線」の活用について

○特別市への移行について

住居表示の見直しを



鈴木 保
議員

南桜井駅周辺は、鉄道で地名が分断され、わかりづらい地域であります。現在、南桜井駅の北側と南側で都市計画道路の整備が進められ、さらに、今議会に提出されている総合振興計画基本構想の中では、この周辺を、副都心機能ゾーンと位置づけています。

地域住民に負担がかかることも認識の上ではありますが、駅周辺のイメージアップのためにも、この都市計画道路の整備にあわせ、住居表示の見直しをすべきと考えますが、見解を伺います。

○市民部長

住居表示を実施するには、地域住民の多くの理解を得ることが必要です。市としては、地域住民の要望に対して、出前講座を開催しています。また、住居表示制度のしおりなどを作成していますので、地域の集会等で活用いただければと考えています。

○市長

整備が完成すれば、地域の商業や住環境がよくなり、一段と活性化が進むと考えています。この周辺は、確かにわかりづらい地域と認識していますが、住民の合意が前提となりますので、要望に応じ、町名、地番の整理に努めてまいりたいと考えています。

このほか

○庄和地域の市街化区域内生活道路整備について

○国道16号線の右折信号について

○江戸川堤防の雑草刈り取りについて

制度融資の充実を



卯月 武彦
議員

中小企業向けの融資として、小口資金融資と近代化資金があります。どちらも市内商工業の振興に寄与することを目的とし、中小零細業者に対して融資する制度なので、より利用しやすい制度である必要があると思います。平成19年9月定例会で条例の改正案が可決され、責任共有制度が導入され、銀行が損失の20%を補償するとともに、融資審査会を廃止し、銀行の審査によって融資が決定されることになりましたが、審査期間は短くなっているのでしょうか。貸し渋りはないのででしょうか。また、国保税の完納を融資条件から外してほしいという要望が強くあります。少なくとも完納を絶対条件とせず、完納の見通しがある場合には、融資を可能にすべきだと思いますが、いかがでしょうか。

○環境経済部長

案件の内容によって、審査

に要する期間が大きく異なっている状況ですが、現在申し込み案件ごとに金融機関へ依頼するよう改め、融資実行までの期間を短縮できるよう努めています。また、貸し渋りについては、現在のところ金融機関の都合で融資実行に至らなかった案件はありません。また、国保税の完納は、利子の一部補助で、その財源を市税として利用するため、市の制度融資を利用するには、市税の完納を必須要件としています。

このほか

- 子どもの防犯について
- 水害対策について

陳情

○陳情第2号

江戸川河川敷道路等の建設整備を早期に図り、機能的で災害に強いまちづくりの推進を求める陳情

○陳情第3号

春日部市議会議員定数削減に関する陳情

○陳情第4号

巨大マンション建築計画に対する行政指導に関する陳情

今定例会の日程

11月26日

開会、議案第100号から議案第120号までの上程・説明、議案第121号並びに議案第122号の上程・説明・質疑・討論・採決

11月28日

議案第100号から議案第120号までに対する質疑

11月30日

常任委員会

12月3日

議会運営委員会

12月4日・5日・7日

一般質問

12月9日

市立病院健全経営検討特別委員会

12月11日・12日

一般質問

12月14日

常任委員長並びに議会運営委員長報告とそれに対する質疑、各議案並びに請願に対する討論・採決、議員提出議案の上程・説明・質疑・討論・採決、都市競艇組合議会議員の選挙、閉会

閉会中の委員会活動

▽総務委員会
10月10～12日

・相馬市（開票時間の短縮について）、盛岡市（外部監査制度について）、秋田市（市民協働・都市内地域分権の推進について）を視察

▽建設委員会
10月10～12日

・福山市（賑わいの道づくりについて）、山口市（一の坂川周辺地区整備事業について）、加古川市（加古川駅付近連続立体交差事業とJR加古川駅周辺都市再生地区の整備について）を視察

▽厚生福祉委員会
10月16～18日

・富山市（富山型デイサービスについて）、坂井市（坂井市立三国病院について）、福井市（子育て支援について）を視察

▽教育環境委員会
10月17～19日

・酒田市（酒田市食育推進計画について）、村山市（村山市バイオオマスタウン構想について）、福島市（ポイ捨てのない美しいまちづくり推進事業について、子どもの夢を育む施設「こむこむ」について）を視察

▽市立病院健全経営検討特別委員会
10月26日

・医療制度の問題点と公立病院の使命について

▽議会運営委員会
11月5日～7日

・柏原市（議会運営及び議会活性化について）、伊賀市（議会運営及び議会活性化について）、一宮市（議会運営「一問一答、議会録画中継」について）を視察

11月21日

・平成19年12月定例会運営について

▽図書室運営委員会
1月9日

・図書購入について

▽議会だより編集委員会
12月18日

・議会だより第10号の発行について

1月9日

・議会だより第10号の発行について

**次の定例会は
2月18日(月)
開会予定です**



12月定例会 審議結果

(○:賛成 ×:反対 -:退席)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	春 和 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	フ ォ ー ム 春 日 部	社 会 民 主 党	無 所 属
第100号	総合振興計画基本構想 (各委員会)	原案可決	○	○	○	×	×	○	○
第101号	後期高齢者医療に関する条例の制定 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	×	×
第102号	公共施設の暴力団等排除に関する条例の制定 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第103号	開発審査会条例の制定 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第104号	行政組織条例の全部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	×	×	○	○
第105号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第106号	行政財産の使用料に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第107号	手数料条例の一部改正 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第108号	児童館条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
第109号	火災予防条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第110号	指定管理者の指定 [放課後児童クラブ] (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
第111号	指定管理者の指定 [市立体育施設及び都市公園] (建設・教育環境)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
第112号	平成19年度一般会計補正予算(第3号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第113号	平成19年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第114号	平成19年度老人保健特別会計補正予算(第3号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第115号	平成19年度介護保険特別会計補正予算(第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第116号	平成19年度下水道事業特別会計補正予算(第2号) (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第117号	平成19年度春日部都市計画事業 西金野井第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号) (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第118号	平成19年度市立看護専門学校特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第119号	平成19年度水道事業会計補正予算(第1号) (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第120号	平成19年度病院事業会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第121号	公平委員会委員の選任につき同意を求める [中山穰氏] (付託省略)	同意	○	○	○	○	○	○	○
第122号	教育委員会委員の選任につき同意を求める [池田良鶴氏] (付託省略)	同意	○	○	○	○	○	○	○

議員提出議案

第14号	最低保障年金制度の実現と「消えた年金」問題の早期解決を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第15号	メディカルコントロール体制の充実を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第16号	取り調べの可視化の実現を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第17号	民法第772条の嫡出推定に関する運用の見直しを求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第18号	後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書 (付託省略)	否決	×	×	×	○	○	○	○

請願

第3号	妊婦無料健診の回数を増やすことを求める請願 (厚生福祉)	採択	○	○	○	○	○	○	○
第4号	子ども医療費無料制度の助成対象の年齢拡大を求める請願 (厚生福祉)	不採択	×	×	○	○	×	×	×
第5号	最低保障年金制度の実現と「消えた年金」問題の早期解決を求める意見書の提出についての請願 (総務)	採択	○	○	○	○	○	○	○
第6号	義務教育費国庫負担制度の維持・拡充を求める請願 (教育環境)	不採択	×	×	×	○	○	○	×

常任委員会行政視察

(◎委員長 ○副委員長)



建設委員会 (加古川市にて)
◎白圭 幸仁 ○蛭間 靖造 鬼丸 裕史
○卯月 武彦 ○山崎 進 内田 勝康
阿部 喜一 小島 文男 中川 朗



総務委員会 (盛岡市にて)
◎茨田 智秀 ○河井 美久 岩谷 一弘
○秋山 文和 ○鈴木 保 小久保博史
武 幹也 野回 浩昭 大山 利夫



教育環境委員会 (酒田市にて)
◎柴 康次郎 ○会田 幸一 松本 浩一
川鍋 秀雄 ○富樫 清年 山回 保
鳴島 武 栗原 信司



厚生福祉委員会 (富山市にて)
◎石川 勝也 ○福田 晃子 滝澤 英明
○村松 君子 ○新部 裕介 阿部真理子
片山いく子 篠ノ内正元 五十嵐みどり

傍聴して一言

初めて議会を傍聴して、議会が身近に感じられました。

女性 60歳

議員によっては質問数が多く、よい答弁が引き出せるのかどうか。質問時間が長く感じられます。質問内容が、よく掌握できなかったところがありました。

男性 79歳

合計	今定例会傍聴状況								
	14	12	11	7	5	12/4	28	11/26	月日
163	15	14	27	26	37	29	11	4	傍聴者数
	討論・採決	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	質疑	上程・説明	主な日程

これまで、なかなか傍聴することがなかったのですが、市の今後の方針や現況等を知ることができ、おもしろいと感じました。

男性 24歳

時間の都合もあるので、うが、質疑のやり方について、1つの質問に対して1つの回答を即答するのが原則ではないですか。

女性・年齢未記入

犯罪が毎月たくさんあること、また、振り込めサギ等もまだまだたくさんあるのだと情報を得ました。

女性 59歳

安全、安心なまちづくりのため、市長、議員と一致協力し合い、発展されることを期待します。

性別・年齢未記入

※割愛させていただいた部分もあります。

編集後記

新年明けましておめでとうござります。

本年も議会だより編集委員一同、市民の皆様に分かりやすく、親しんでいただける紙面づくりに努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

まだまだ寒い日が続きますので、市民の皆様には健康に留意されますように。

議会だより編集委員会

- 委員長 村松 君子
- 副委員長 新部 裕介
- 委員 鬼丸 裕史
- 委員 岩谷 一弘
- 委員 洪田 智秀
- 委員 松本 浩一
- 委員 武 幹也
- 委員 石川 勝也
- 委員 小島 文男
- オプザーバー 山崎 進
- 議長 鈴木 保
- 副議長 鈴木 保

〒344-8577
埼玉県春日部市中央6丁目2番地
春日部市議会
TEL 048-736-1111 (代表)
内線 3116